

第1表 排水設備のリフォーム

リフォームを検討すべき時期	機器または配管	状 況
1. 機器または配管が機能を満足しなくなり、寿命に達した時点	排水ポンプ (汚物・汚水・湧水など)	オーバーホールのための部品がないか、修理が不可能。
	排水管系	管の腐食による漏水、スケール付着による排水能力の低下があり、部分補修管内洗浄などによっても機能回復が不可能。阻集器の腐食などの機能低下。
	通気管系	管の腐食が著しく、管内閉塞などが考えられる場合、通気口金物の腐食。
2. 既存機器の容量・配管径が現状または増築・模様替えなどの負荷の変化に対して、著しく大きいか、または小さい場合。	排水ポンプ	能力不足で連続運転となっているか、能力過剰で ON、OFF が頻繁である。
	排水管 通気管	排水負荷に対して、管径が小さく、排水のあふれなどの現象があるかその恐れがある。 トラップの封水切れなどの現象が多発している。
	阻集器	流入排水量に対して、グリース残滓の阻集能力が劣る。本体の腐食、漏水がある。
3. 機器・配管を交換することにより維持管理費や運転費が大幅に節約できる場合	排水ポンプ	既存が旧式化し、新機種に比較して性能が劣る。維持管理に手間や費用が多くかかる。
	排水・通気管	管詰まり対策や漏水修理のために手間費用が多くかかる。
4. 現在の規準に適合せず、安全衛生上または保守管理上問題がある場合	汚水タンク 排水トラップ 阻集器	マンホールの口径が小さく清掃に不便。防臭措置がない。管トラップ、トラップ柵などが不完全で、悪臭、害虫の侵入などがある。 グリース阻集器、その他の阻集器が不完全で、管を閉塞またはその恐れがある。